

10年間の財務データ

(単位：百万円)

日本基準	FY2014	FY2015
年度：		
売上高	1,006,630	1,184,100
売上原価	△659,509	△769,230
売上総利益	347,121	414,870
販売費及び一般管理費	△272,601	△323,989
営業利益	74,519	90,880
営業外収支、特別損益	4,529	9,272
税金等調整前当期純利益	79,049	100,153
親会社株主に帰属する当期純利益	46,495	63,427
設備投資	50,927	58,867
減価償却費	43,376	50,920
年度末：		
総資産	1,255,090	1,262,113
自己資本	669,576	619,872
有利子負債(Net)	43,299	43,462
1株当たり(円)：		
当期純利益	¥78.50	¥107.90
純資産	1,131.4	1,066.8
年間配当金	24.0	28.0
流動性の指標：		
D/Eレシオ*1	0.13	0.16
インタレストカバレッジ倍率(倍)	50.4	57.1
投資の指標：		
株価収益率(倍)	33.5	23.5
株価純資産倍率(倍)	2.3	2.4
収益性の指標：		
総資産当期純利益率(ROA)(%) *2	4.0	5.0
自己資本当期純利益率(ROE)(%) *3	7.4	9.8
効率性の指標：		
総資本回転率(回) *4	0.87	0.86

*1 D/Eレシオ=有利子負債÷自己資本(有利子負債は「有利子負債-現金および現金同等物×75%」で計算)

*2 総資産当期純利益率(ROA)=当期純利益÷期中平均総資産

*3 自己資本当期純利益率(ROE)=当期純利益÷期中平均自己資本

*4 総資本回転率(回)=売上高÷期中平均資産合計

(単位：百万円)

IFRS	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
年度：									
売上高	1,149,427	1,091,195	1,114,784	1,114,308	1,100,039	1,071,453	1,149,370	1,359,115	1,439,231
売上原価	△757,135	△704,177	△720,118	△719,299	△696,166	△665,234	△723,472	△888,727	△927,783
売上総利益	392,291	387,018	394,666	395,008	403,873	406,219	425,897	470,387	511,448
販売費・研究開発費及び一般管理費	△295,315	△292,701	△302,959	△301,253	△302,191	△294,399	△305,966	△339,372	△368,496
事業利益*1	98,144	96,852	95,672	93,237	99,236	113,136	120,915	135,341	147,681
営業利益	99,678	83,617	78,706	53,642	48,773	101,121	124,572	148,928	146,682
税引前当期利益	98,778	86,684	80,819	54,698	48,795	98,320	122,472	140,033	142,043
親会社の所有者に帰属する当期利益	71,292	53,065	60,124	29,698	18,837	59,416	75,725	94,065	87,121
設備投資	58,459	89,677	79,417	79,632	83,666	91,834	74,102	69,850	76,947
減価償却費及び償却費	50,852	46,273	51,783	52,485	61,986	63,045	66,234	71,820	78,298
年度末：									
資産合計	1,273,893	1,350,105	1,426,230	1,393,869	1,353,616	1,431,289	1,457,060	1,511,734	1,774,495
親会社の所有者に帰属する持分	609,486	616,315	640,833	610,543	538,975	620,257	686,909	768,676	814,690
有利子負債(Net)	64,089	149,980	156,337	183,297	272,031	225,213	212,508	203,722	320,141
1株当たり(円)：									
当期利益	¥121.23	¥92.81	¥105.76	¥53.62	¥34.37	¥108.36	¥139.42	¥175.97	¥167.44
親会社所有者帰属持分	1,048.96	1,082.90	1,128.44	1,113.93	983.19	1,130.82	1,280.50	1,452.24	1,589.43
年間配当金	28.0	30.0	32.0	32.0	32.0	42.0	52.0	68.0	74.0
流動性の指標：									
ネットD/Eレシオ*2	0.19	0.31	0.32	0.36	0.57	0.44	0.36	0.31	0.45
インタレストカバレッジレシオ(倍)	58.8	44.0	43.3	38.1	32.6	49.2	45.0	31.4	34.8
投資の指標：									
株価収益率(倍)	20.9	23.7	18.0	33.0	58.5	20.9	24.9	26.2	33.8
株価親会社所有者帰属持分倍率(倍)	2.4	2.0	1.7	1.6	2.0	2.0	2.7	3.2	3.6
収益性の指標：									
総資産事業利益率(ROA)(%) *3	7.8	7.4	6.9	6.6	7.2	8.1	8.4	9.1	9.0
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(%) *4	11.3	8.7	9.6	4.7	3.3	10.3	11.6	12.9	11.0
資本利益率(ROIC)(%) *5	-	-	-	3.8	3.0	6.9	7.9	9.9	8.7
EBITDAマージン(%) *6	-	-	-	-	-	-	-	15.2	15.7
効率性の指標：									
総資本回転率(回) *7	0.91	0.83	0.80	0.80	0.80	0.77	0.80	0.92	0.88

*1 IFRS導入時に、経営管理のため独自に定義した利益指標(売上高-売上原価-販売費・研究開発費および一般管理費+持分法による損益)

*2 ネットD/Eレシオ=有利子負債÷親会社所有者帰属持分(有利子負債は「有利子負債-現金および現金同等物×75%」で計算)

*3 総資産事業利益率(ROA) = 事業利益 ÷ 期中平均資産合計

*4 親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE) = 親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ 期中平均親会社所有者帰属持分

*5 投下資本利益率(ROIC) = (事業年度の税引後営業利益) ÷ [(事業年度の投下資本) + (前事業年度の投下資本)] ÷ 2]

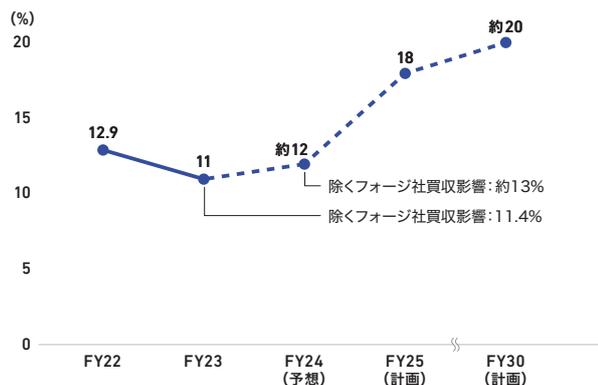
(投下資本=親会社の所有者に帰属する株主資本+有利子負債)

*6 EBITDAマージン = (事業利益+減価償却費および償却費) ÷ 売上高

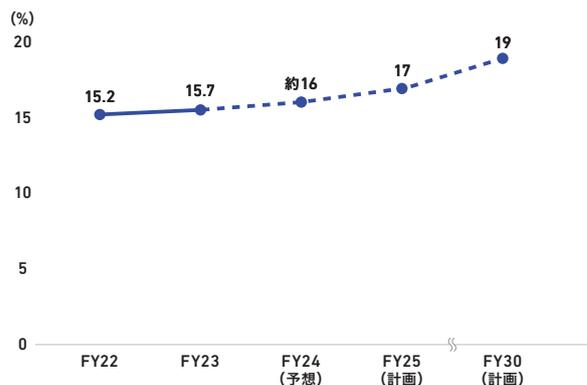
*7 総資本回転率(回) = 売上高 ÷ 期中平均資産合計

パフォーマンスデータ

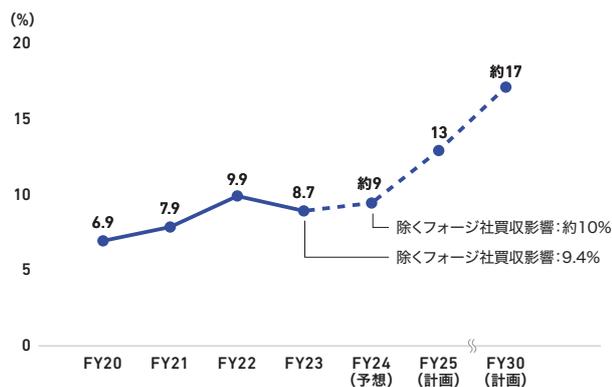
[ROE]



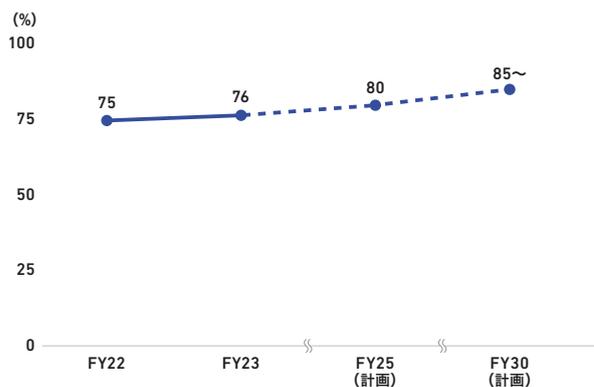
[EBITDAマージン]



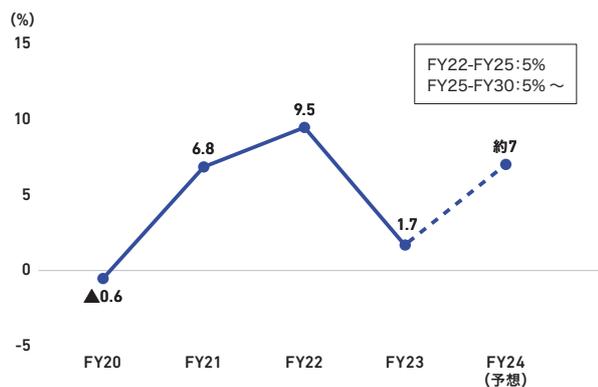
[ROIC (>資本コスト)]



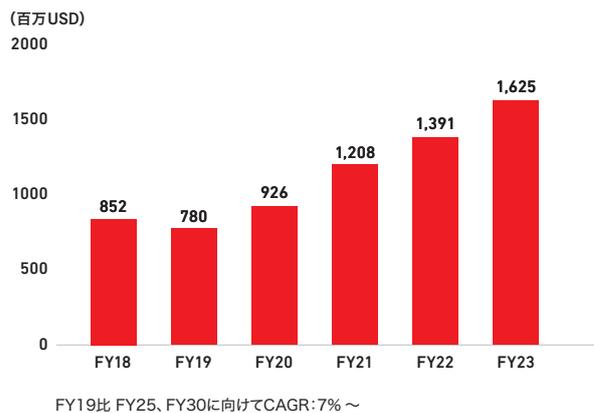
[従業員エンゲージメントスコア*1]



[オーガニック成長率]



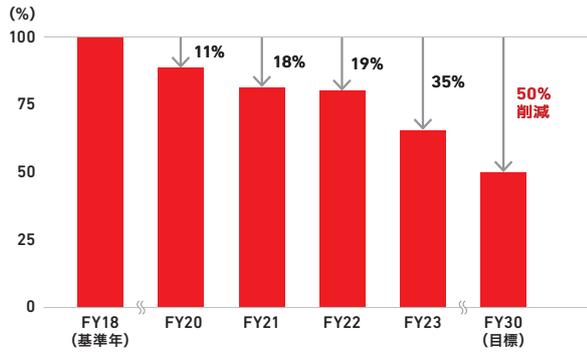
[コーポレートブランド価値*2]



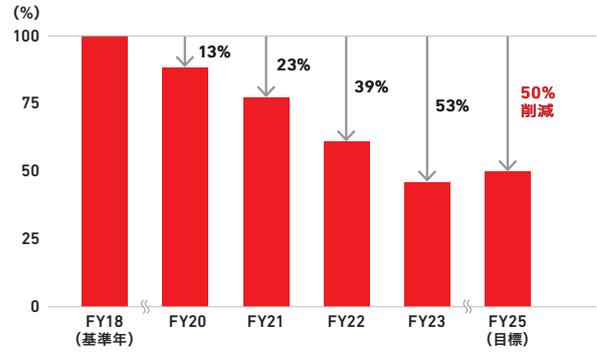
*1 「ASV実現プロセス」の9設問の平均値。

*2 インターブランド社調べ。「Best Japan Brands」公表数値。

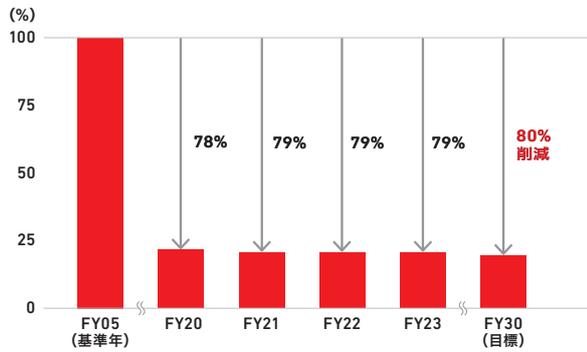
[温室効果ガス排出量削減率
(対2018年度スコープ1、2総量) *1]



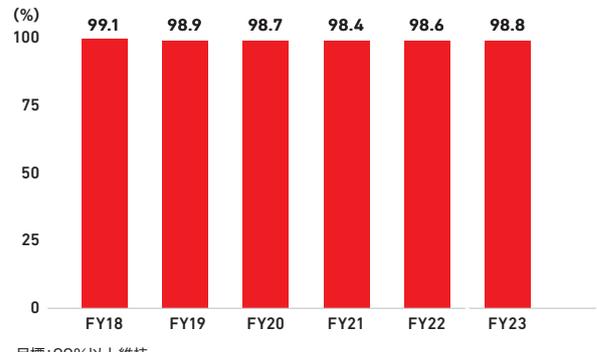
[フードロス削減率
(発生量対生産量原単位) *3 (対2018年度)]



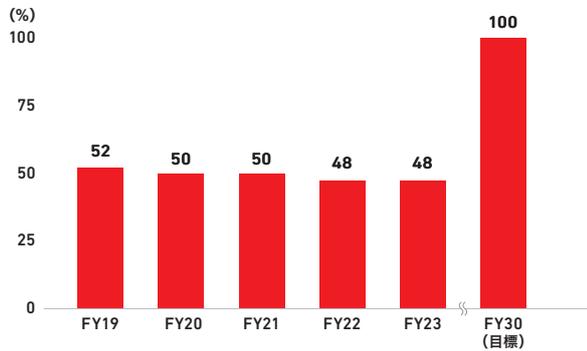
[水使用量対生産量原単位削減率 (対2005年度)]



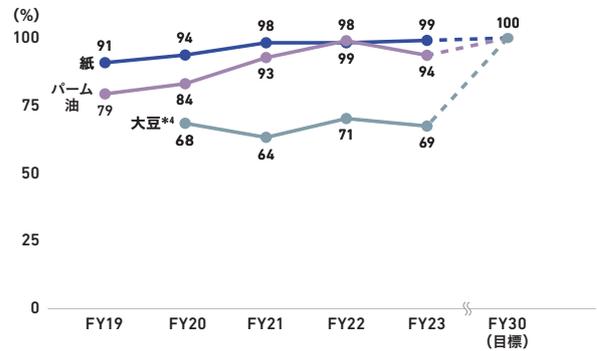
[廃棄物・副生物の資源化率]



[リサイクル可能なプラスチック*2比率]



[持続可能な調達比率]



[栄養コミットメントの定量KPI]

	FY20(実績)	FY21(実績)	FY22(実績)	FY23(実績)	FY25(目標)	FY30(目標)
栄養価値を高めた製品*5の割合	40%	50%	56%	57%	—	60%
栄養価値を高めた製品のうち、「おいしい減塩」「たんぱく質摂取」に役立つ製品の提供	年間 2.8億人	年間 3.2億人	年間 3.4億人	年間 3.5億人	—	年間 4億人
アミノ酸の生理機能や栄養機能を活用した製品の利用機会	(基準年)	1.07倍	1.10倍	1.07倍	—	2倍
従業員への栄養教育	延べ460人	延べ2.6万人	延べ5.6万人	延べ8.8万人	延べ10万人	—

*1 SBTi目標に対する実績。 *2 技術的にリサイクル可能なプラスチック。2019年に総量調査を実施、2020年以降のリサイクル可能比率は、国内主要事業部のみ更新。
*3 原材料受け入れからお客様納品まで。 *4 国内事業向け調達分。
*5 国際公衆衛生の観点から重要な栄養成分の摂取の改善・強化に寄与する、味の素グループの基準を満たす製品。

EUROPE & AFRICA

France

Paris / Le Neubourg

■欧州アフリカ本部
ヨーロッパ味の素社
欧州味の素食品社
フランス味の素冷凍食品社

Spain

Valencia

アグロ2アグリ社

Ireland

Limerick

ニューアルトラ社

Belgium

Wetteren

味の素オムニカム社

Poland

Warsaw / Czystochowa

ポーランド味の素社
味の素JAWO社

Russia

Moscow

ロシア味の素社
味の素-ジェネチカ・リサーチ・インスティテュート社

Nigeria

Lagos

ナイジェリア味の素食品社

British Virgin Islands

プロマシドール・ホールディングス社

Turkey

Istanbul

イスタンブール味の素食品社

JAPAN

味の素(株)

味の素食品北海道(株)
北海道味の素(株)
日本プロテイン(株)
テリカエース(株)
味の素エンジニアリング(株)
(株)味の素コミュニケーションズ
味の素デジタルビジネスパートナー(株)
味の素AGF(株)
味の素トレーディング(株)
味の素フィナンシャル・ソリューションズ(株)
味の素ベーカリー(株)
味の素ヘルシーサプライ(株)
味の素冷凍食品(株)

味の素みらい(株)

味の素ダイレクト(株)
川研ファインケミカル(株)
(株)J-オイルミルズ
F-LINE(株)
NRIシステムテクノ(株)
味の素食品(株)
味の素ファインテクノ(株)
味の素コージンバイオ(株)
(株)かつお技術研究所
(株)ジーンデザイン
ヤマキ(株)
味の素構内サービス(株)
沖縄味の素(株)



ASIA

China

Beijing / Shanghai Lianyungang / Amoy

味の素(中国)社
上海味の素アミノ酸社
上海味の素食品研究開発センター社
上海味の素調味料社
連雲港味の素如意食品社
連雲港味の素冷凍食品社
アモイ味の素ライフ如意食品社
上海味の素貿易有限公司社
味の素(上海)化学製品社

Korea

Seoul / Incheon

韓国味の素社
味の素CELLIST Korea社
味の素農心フーズ社

Taiwan

Taipei

台素社
台湾味の素社

Philippines

Manila / Bulacan

フィリピン味の素社
フィリピン味の素フレイバーフーズ社

Thailand

Bangkok

■アセアン本部
味の素アセアン地域統括社
タイ味の素社
タイ味の素販売社
タイ味の素冷凍食品社
ワンタイフーズ社
味の素FDグリーン(タイランド)社

Indonesia

Jakarta / Bekasi

インドネシア味の素社
インドネシア味の素販売社
アジネックス・インターナショナル社
ラウタン味の素・ファイン・イングリデーエンツ社

Vietnam

Dong Nai

ベトナム味の素社

Cambodia

Phnom Penh

カンボジア味の素社

Malaysia

Kuala Lumpur

マレーシア味の素社

Singapore

シンガポール味の素社

Myanmar

Yangon

ミャンマー味の素食品社

Bangladesh

Dhaka

バングラデシュ味の素社

India

Chennai

インド味の素社
マルちゃん味の素インド社

味の素グループは 34の国と地域で事業を展開しています。

*2024年4月1日現在



NORTH AMERICA

U.S.A.

Itasca / San Diego
Ontario / Cupertino
Ayer / Grove City

■北米本部
味の素ヘルス・アンド・
ニュートリション・ノースアメリカ社
味の素アルテア社
味の素フーズ・ノースアメリカ社
味の素東洋フローズンヌードル社
味の素ファインテクノUSA社
味の素キャンブルック社
フォージ・バイオロジクス社

Canada

Shelburne
ケニー・アンド・ロス社

LATIN AMERICA

Brazil

São Paulo
■ラテンアメリカ本部
ブラジル味の素社

Mexico

Mexico City
メキシコ味の素社

Peru

Lima
ペルー味の素社

Ecuador

Guayaquil
サバコール社

グアヤキル○

リマ○

■ サンパウロ

○ 英領ヴァージン諸島

アイタスカ■

○ シェルバーン

○ エイヤー

○ グローブシティ

○ クバチーノ

○ オンタリオ

○ サンディエゴ

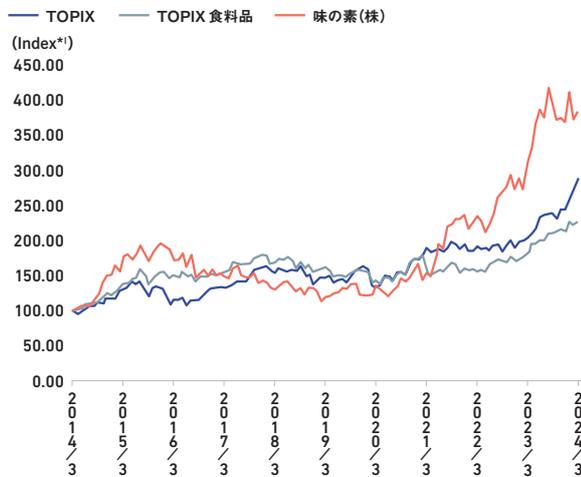
○ メキシコシティ

<p>アウトカム</p>	<p>味の素グループが中期的な時間軸で、社会に対して創出する価値。</p>
<p>アミノサイエンス®</p>	<p>アミノ酸のはたらきに徹底的にこだわった研究プロセスや実装化プロセスから得られる多様な素材・機能・技術・サービスの総称。また、それらを社会課題の解決やWell-beingの貢献につなげる、味の素グループ独自の科学的アプローチ。</p>
<p>ウェルビーイング (Well-being)</p>	<p>健康で幸せな状態。</p>
<p>おいしさ設計技術®</p>	<p>味の素グループの強みである香り・味・食感の解析技術および制御技術を磨き、それらの組み合わせにより圧倒的なおいしさを実現し、健康、持続可能性、スマート調理などの+αの顧客価値を創出する技術。</p>
<p>核酸医薬</p>	<p>生物の遺伝情報を司る、デオキシリボ核酸 (DNA) やリボ核酸 (RNA) の構成成分であるヌクレオチド等を基本骨格とする医薬。核酸医薬品は、低分子医薬品、抗体医薬品に続く第3の医薬品とされ、従来の医薬品では治療が難しかった疾患を根治する可能性がある。</p>
<p>棚卸資産回転日数 (DIO)</p>	<p>対象の棚卸資産が何日間に入れ替わっているか＝商品を仕入れてどのくらいの期間で販売できているかを示す値。Days Inventory Outstandingの略。((期初棚卸資産額+期末棚卸資産額)÷2) ÷売上原価 (年間) ×365 (日数) で求める。DIOの短縮はCCCの短縮に直結し、キャッシュ創出力を向上させる。</p>
<p>ネガティブインパクト</p>	<p>事業を通じて自社バリューチェーンで発生する負の影響。</p>
<p>ポジティブインパクト</p>	<p>味の素グループが長期的な時間軸で、社会に対して創出するポジティブな影響。</p>
<p>マテリアリティ</p>	<p>味の素グループにとっての重要な事項。</p>
<p>ローリング フォーキャスト</p>	<p>直近の実績や外部環境、事業計画を元に、継続的に将来の業績見通しを更新していく予測手法のこと。短期目標 (業績予想) および中長期目標 (ASV指標) の達成に向け、アクションプランをスピーディかつ的確に立案し実行するために活用される。</p>

ASV	Ajinomoto Group Creating Shared Value。創業以来一貫した、事業を通じて社会価値と経済価値を共創する取り組み。
CAGR	年平均成長率のこと。Compound Annual Growth Rateの略。
CCC	Cash Conversion Cycleの略。仕入債務を支払ったのちに売上債権の回収までの所要日数を示す財務指標。売上債権回転日数+棚卸資産回転日数-仕入債務回転日数で求める。CCCを短縮することで、よりキャッシュ創出力が向上し、将来への投資や株主還元へキャッシュを振り向けることができる。
CDMO	医薬品開発製造受託機関のこと。Contract Development and Manufacturing Organizationの略。製薬会社向けに医薬品受託製造、開発段階における製造条件の最適化等、製造・開発面における包括的なサービスを提供する事業。
LEAPアプローチ	TNFDが開発した、自然との接点、自然との依存関係、インパクト、リスク、機会等、自然関連課題の評価のための統合的なアプローチ。
OE	Operational Excellenceの略。業務運用（オペレーション）の効率向上を目指すことによってオペレーションに自社独自の優位性を保っている状態のこと。
SKU	在庫管理上での最小の単位。Stock Keeping Unitの略。例えば、同ブランド・同品種でも、「Cook Do [®] 」回鍋肉、「Cook Do [®] 」回鍋肉2人前で2SKUとなる。
TDC	売上原価に物流費を加え、納品先に商品を届けるまでのコストを合計したもの。Total Delivered Costの略。
TNFD	自然関連財務情報開示タスクフォース。2021年6月に立ち上がった、民間企業や金融機関が、自然資本および生物多様性に関するリスクや機会を適切に評価し、開示するための枠組みを構築する国際的な組織。
WACC	加重平均資本コストのこと。Weighted Average Cost of Capitalの略。企業の稼ぐ力である投下資本利益率（ROIC）が加重平均資本コスト（WACC）を上回っていくことが、企業価値の成長につながる。

社名	味の素株式会社
創業年月日	1909年5月20日
資本金	79,863百万円
従業員数	連結34,862名、単体3,480名
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで (定時株主総会：6月)
本社所在地	〒104-8315 東京都中央区京橋一丁目15番1号 TEL：(03) 5250-8111(代)
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式の総数	521,430,854株
株主数	130,514名(前期末比12,367名増)
上場証券取引所	東京証券取引所(証券コード：2802)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

[株価パフォーマンス(10年間)]



*1 2014年3月末日の終値データを100とした配当込みの株価指数の推移。

[トータル株主リターン(TSR)]

	1年		3年		5年		10年	
	累計 / 年率	累計	年率	累計	年率	累計	年率	
味の素(株)	24.5%	158.4%	37.2%	235.1%	27.4%	311.8%	15.2%	
TOPIX	41.3%	52.5%	15.1%	96.2%	14.4%	188.6%	11.2%	
TOPIX食料品	24.9%	46.8%	13.7%	41.3%	7.2%	128.9%	8.6%	

[株式分布状況(所有者別)]

金融機関	41.4%
個人・その他	17.9%
外国法人・外国人	35.9%
事業会社等(その他の法人)	3.0%
金融商品取引業者	1.8%

[大株主]

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	89,191	17.39
JP MORGAN CHASE BANK 385632	43,571	8.49
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	36,172	7.05
第一生命保険株式会社	26,199	5.11
日本生命保険相互会社	25,706	5.01
明治安田生命保険相互会社	11,362	2.22
STATE STREET BANK WEST CLIENT- TREATY 505234	9,147	1.78
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	7,652	1.49
JP MORGAN CHASE BANK 385781	6,346	1.24
損害保険ジャパン株式会社	5,026	0.98

[年度ごとの株価推移]

FY	最高値(円)	最安値(円)	年度末(円)	ボラティリティ*2
2013	1,594	1,236	1,475	28.2%
2014	2,782.50	1,443.00	2,634.50	26.2%
2015	3,161.00	2,404.00	2,539.50	33.6%
2016	2,702.50	2,020.00	2,196.50	28.2%
2017	2,543.50	1,853.00	1,925.00	19.2%
2018	2,188.00	1,624.50	1,769.00	25.4%
2019	2,088.00	1,626.00	2,010.50	26.1%
2020	2,527.50	1,694.00	2,265.50	28.9%
2021	3,656.00	2,135.00	3,475.00	24.9%
2022	4,634.00	2,879.00	4,606.00	25.9%
2023	6,279.00	4,568.00	5,660.00	27.0%

*2 数値は標準偏差。

[SRIインデックスへの組み入れ]

> SRIインデックスへの組み入れ <https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/esg/evaluation.html>

- Dow Jones Sustainability World Index
2014年より連続選定
- FTSE4Good Global Index
2004年より連続選定
- MSCI Global SRI Indexes
2011年より連続選定
- MSCI Global ESG Leaders Indexes
2010年より連続選定

[主な評価・表彰]

> 外部からの評価・表彰 <https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/esg/sri/2023.html>

- CDP2023年度
「気候変動Aリスト(最高評価)」
- PRIDE指標2023(ゴールド)
- 令和5年度「なでしこ銘柄」
- 2024 EcoVadis(ゴールド)
- コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー® 2023
- GPIFの国内株式運用機関が選ぶ
「優れた統合報告書」
- 健康経営優良法人2024
(大規模法人部門～ホワイト500～)
- 2023年度証券アナリストによるディスクロージャー
優良企業選定
「個人投資家向け情報提供部門優良企業」

[関連資料]

[関連資料体系図]

ASVレポート2024 (発行：2024年8月末)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/activity/ir/>



ASVレポート編集部

味の素(株)経営企画部、IR室、グローバルコミュニケーション部、(株)マガジンハウス、(有)nendo、(株)バリュークリエイト

味の素グループ サステナビリティレポート (発行：2024年9月)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/databook.html>

IR Data Book (発行：2024年6月)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/guide.html>

Fact Book (発行：2024年6月)

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/factbook/main/0/teaserItems1/00/linkList/0/link/Fact%20Book_J.pdf

有価証券報告書 (発行：2024年6月)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/securities.html>

コーポレート・ガバナンスに関する基本方針 (更新：2024年4月)

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/strategy/corp_gov/main/0/teaserItems1/03/linkList/03/link/principle_J.pdf

コーポレート・ガバナンス報告書 (発行：2024年6月)

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/strategy/corp_gov/main/0/teaserItems1/03/linkList/01/link/Governance2024_J.pdf

